

東大野球部

New! メールマガジン Vol.02

はじめまして

ようやく遅い梅雨に入り、不安定な天気が続いております。皆様いかがお過ごしでしょうか？

野球部では雨に負けじと練習しております。国公立戦やオープン戦も始まり、いよいよ夏に向けて本格始動です。

オープン戦は東大球場で行われるものもございまして、ぜひ足をお運びください。皆様のご来場をお待ちしております。

東大野球部 今後の予定

〈オープン戦〉

- 6月27日 vs 中央大学 @中大球場 13:00
- 7月11日 vs 城西大学 @城西大G 13:00
- 18日 vs 横浜商科大学@横商大球場 13:00
- vs 城南クラブ @東大球場 13:00

僕の野球人生

今月から「僕の野球人生」というコーナーで、野球を始めたきっかけや思い出に残る試合、野球への思いを4年生の部員に語ってもらいます。今回は、白鶴投手と安井内野手を特集します。

白鶴 翔太郎(四年・投手)

僕は中学校に野球部がなかった為に高校から野球を始めました。硬式野球部は敷居が高かったため軟式野球部に入部し、東大に入ったら硬式をやろうと決めていました。

今までで一番印象に残っている試合は大学三年春の東洋大学とのオープン戦ですね。あの試合中に感じた感覚が未だに忘れることが出来ません。他の誰も決してわかるはずのない、自分だけの感覚。その感覚をもつ一度、今度は神宮のマウンドで味わうことが出来れば大学野球を悔いなく終わることができるだろうと思っています。



2009年3月に行われた東洋大学とのオープン戦、白鶴投手は7回から、6点ビハインドという場面で登板しました。先頭打者にヒットを許してしまいました。ですが、2アウトをとるところまでこぎつきます。その後味方の失策や暴投で失点してしまい、結果的に強豪相手に大差の敗北を喫してしまいました。マウンドに立っていた白鶴投手には、周りから観ている人とは違う感覚を感じていたので。左の写真は昨年春、東大球場で投球をする当時3年生だった白鶴投手です。今シーズン、リーグ戦での登板はまだありませんが、秋季リーグ戦は4年生にとって最後のシーズンとなります。白鶴投手の活躍に期待したいですね！

安井 優(四年・内野手)

私の大学での一番の思い出は先輩から頂いた一言です。私は昨年の主将の高橋先輩と同じセカンドのポジションという点でもあり、御指導を頂いたり一緒に練習したりする機会が多かったです。先輩が引退されるときに、「お前のおかげで悔いの残らないくらい練習できた。ありがとう」と言ってもらい、とても感動しました。

私が野球をすることができるようのもあと半年を切りましたが、先輩方から頂いたものをしっかりと後輩達に伝えていき秋には強い東大をお見せできるように頑張っていきますので応援よろしくお願いします。



安井選手は今年から、内野手としてだけでなく、学生コーチとしても活躍しています。写真は、右側がリーグ戦でコーチとして立つ安井選手、左側が一塁ベースで後輩の館選手に言葉を送る安井選手です。このように後輩を熱心に指導する姿は、安井選手が昨年主将を務めた高橋選手に頂いた言葉で支えられていたのですね。学生コーチとして活躍されている安井選手の集大成として、秋のリーグ戦で東大野球

部がどんなチームになっているのでしょうか、非常に期待せずにはいられません！



編集後記

今回から始まった企画「僕の野球人生」はいかがでしたでしょうか。周りの人からは分からなくても、選手一人一人がそれぞれの環境でそれぞれの思いを持って野球に取り組んでいるのです。これから四年生が引退するまで、毎回特集していきますのでお楽しみに！

また来月もオープン戦が何試合か行われます。秋のリーグ戦での勝利に結び付けられるよう選手・マネージャー一同精進してまいります。今後とも変わらぬご声援よろしくお願いたします。

お問い合わせ先

〒113-0023

東京都文京区向ヶ丘1-5-9 一誠寮

TEL&FAX 03(3811)5800

メールアドレス office@tokyo-bbc.net

メルマガについてのご意見、配信停止のご希望等がございましたら上記連絡先までご連絡下さい。

